



研究用試薬

## ヒストファイン

第一抗体

抗 SOX10 モノクローナル抗体(BC34)(AT 用)

(動物種：マウス)

包装： 50 テスト(6.5mL)

Code： AT1824-1

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地 6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■本品は、自動染色装置ヒストステイナーAT用の試薬 第一抗体である。

■特異性および抗原分布：ヒトSOX10(Sry-related HMG-Box gene 10)タンパクと特異的に反応する。SOX10は、神経堤および末梢神経系やメラニン色素産生細胞の発達に重要な役割を持つ転写因子である(6)。正常では、メラニン色素産生細胞、シュワン細胞、オリゴデンドログリア細胞(乏突起膠細胞)、気管支腺・唾液腺・乳腺の筋上皮細胞などの核に反応がみられる(1),(3),(4),(6)。腫瘍では、悪性黒色腫や末梢神経鞘腫瘍・神経膠腫・唾液腺腫瘍・乳癌の一部などにおいて反応がみられる(3),(4),(5),(6),(7)。特に悪性黒色腫、末梢神経鞘腫瘍に、感度・特異性が高く、これらの腫瘍の判定に有用である(1),(2),(4),(6),(7)。

注) SOX10が発現している細胞では、核の他に細胞質に弱い染色がみられる場合がある。

■クローン名：BC34

■抗体のサブクラス：IgG1

■免疫原：SOX10 タンパク

■製法：培養上清よりアフィニティー精製して得ている。

## 1. 内容

第一抗体・・・抗 SOX10 モノクローナル抗体(BC34) (動物種：マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と 0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1 バイアル中に 6.5mL を含む。

## 2. 使用目的

組織・細胞中の SOX10 の染色。

## 3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

1) 他の試薬とともに試薬ラック(AT用)にセットし、染色を開始する。

2) 染色終了後、すみやかに2-8℃に保存する。

## 4. 染色方法の設定

試薬の反応温度、反応時間を下記に設定する。

《タイプ：HRP Heat》

プロトコル名	Dewax	TR	温度(℃)	ブロッキング	試薬名	第一抗体 反応時間(分)	第一抗体 反応温度(℃)
SOX10-AT	Dewax2-AT	TRpH9-AT	101	Buffer	SOX10-AT	20	25

■参考：組織の固定状況等により、熱処理時間を長くすることで良好な染色が得られる場合がある。熱処理時間の長い染色方法へ変更するためには、《タイプ：HRP Heat》の替わりに《タイプ：Special》に登録することが必要である。(裏面参照)

## 5. 貯法および使用上の注意

1. 2-8℃保存。

2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。

3. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。

4. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

## 6. 取扱上(危険防止)の注意

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. 本品は、動物由来成分を含むので、取扱に注意が必要である。
6. 本品にはアジ化ナトリウムが含まれている。アジ化ナトリウムは水道管に含まれる銅、鉛との反応によって爆発の危険性があるので、多量の水とともに洗い流すこと。
7. ヒト由来の検体は、感染の恐れがあるので適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

## 7. 参考文献

- (1) Nonaka D, et al. Am J Surg Pathol. 32(9):1291-8. 2008
- (2) Karamchandani JR, et al. Appl Immunohistochem Mol Morphol. 20(5):445-50. 2012
- (3) Cimino-Mathews A, et al. Hum Pathol. 44(6):959-65. 2013
- (4) Ordóñez NG. Adv Anat Pathol. 20(4):275-83. 2013
- (5) Mohamed A, et al. Appl Immunohistochem Mol Morphol. 21(6):506-10. 2013
- (6) Tacha D, et al. Arch Pathol Lab Med. 139(4):530-6. 2015
- (7) Miettinen M, et al. Am J Surg Pathol. 39(6):826-35. 2015

### ■ 研究用としてのみ使用すること。

- 参考：熱処理時間の長い染色方法へ変更するためには、《タイプ：HRP Heat》の代わりに《タイプ：Special》に登録することが必要です。弊社にて登録、設定を行いますのでご連絡ください。

《タイプ：Special》にて染色を行う場合、使用する試薬に変更はありませんので追加で用意が必要な試薬はありません。